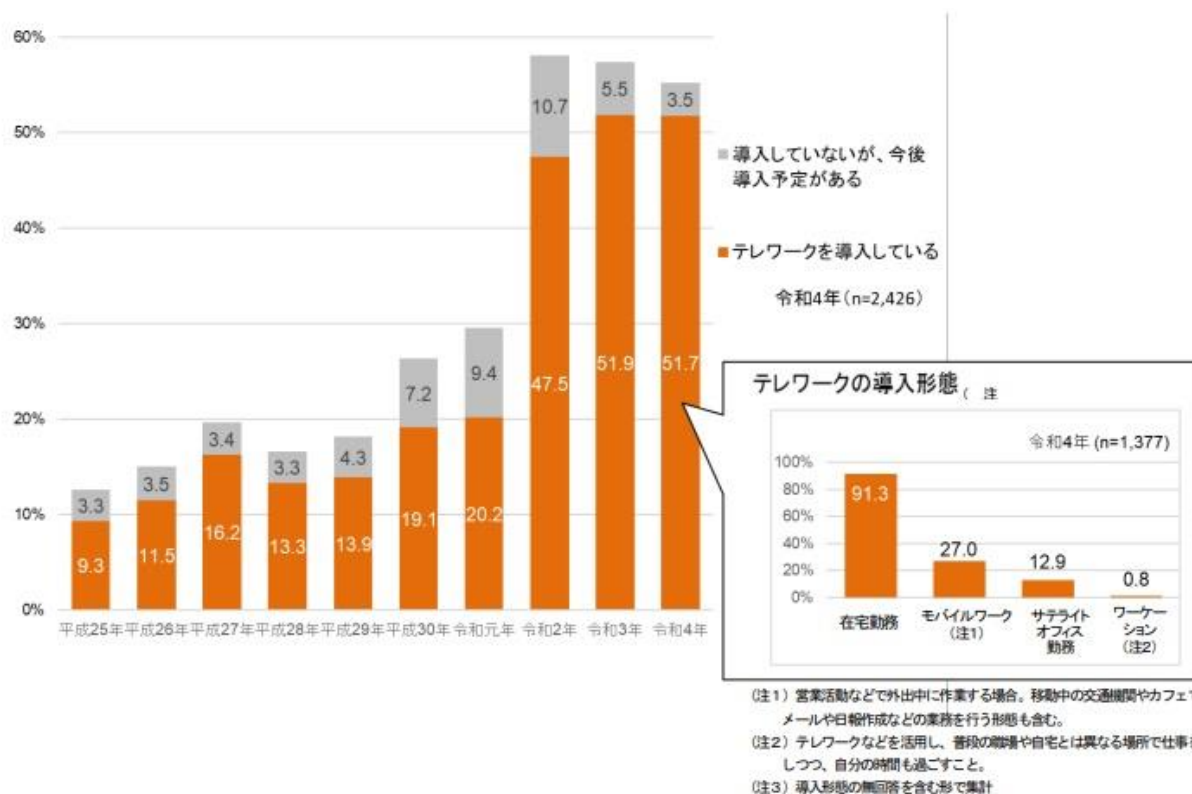


【テレワークの導入状況（企業）】



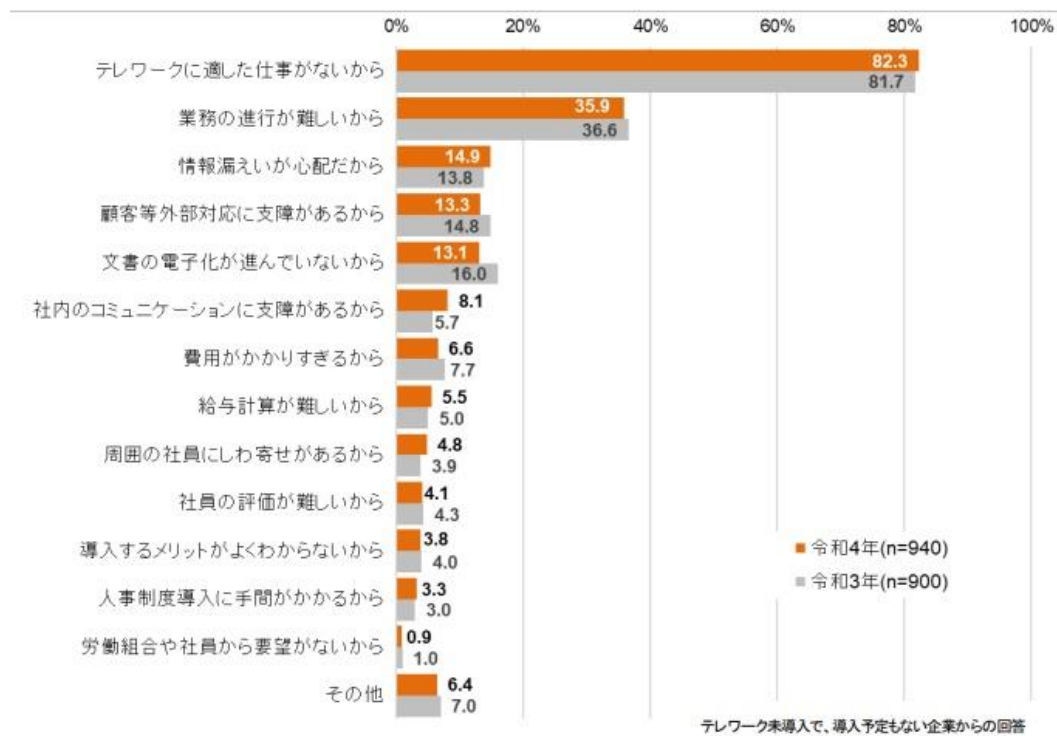
テレワークを導入している企業の割合は 51.7%となっており、前回調査から 0.2 ポイント減少している。「導入していないが、今後導入予定がある」と回答した企業は 3.5%となり、減少傾向にある。

導入しているテレワークの形態は、「在宅勤務」の割合が 91.3%と最も高くなっている。産業別にみると、「情報通信業」の大半（97.6%）が導入しているほか、「金融・保険業」（84.3%）の割合が高い。

テレワークの主な導入目的は、「新型コロナウイルス感染症への対応（感染防止や事業継続のため）」の割合が 87.4%と最も高い。他方、「勤務者の移動時間の短縮・混雑回避」（30.3%）は 6.7 ポイント減少している。

なお、テレワークを導入していない企業が導入しない理由は、「テレワークに適した仕事がないから」の割合が 82.3%と最も高くなっている（総務省「令和4年通信利用動向調査の結果」）。

【テレワークを導入しない理由（複数回答）】



なお、テレワークを導入していない企業が導入しない理由は、「テレワークに適した仕事がないから」の割合が82.3%と最も高くなっている（総務省「令和4年通信利用動向調査の結果」）。